令和６年度　　年間授業計画　東京都立小金井工科高等学校定時制

教科名	理科	単位数	１（２年間で計３）　単位
科目名	物理基礎	対象学年・科	４年全 （化学基礎との選択）　組
教科担任	太田　清和		
教科書 副教材等	改訂　新編　物理基礎（物基312）　東京書籍		

指導目標	物理の基本法則を学び、自然現象の中にある規則性を理解させる。そのために必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、以下を基本方針とする。 ①　３学年で学習した項目に引き続き、教科書の例題や練習問題を生徒が自力で解けるようにさせ、３学年４学年を通じて教科書の全項目を学習する。 ②　学習に際し生徒自身が学習内容を理解し確認できるようノートを作成させる。 ③ 学習内容と生徒自身の身近な現象を関連付け、より物理学に対する興味を引き出すように工夫する。

		単　元	予定時数	学　習　内　容・目　標
年間授業内容	一学期	２編　さまざまな物理現象とエネルギー	１０	仕事およびエネルギーの表し方 （３学年時学習内容の確認） １章 熱 ２章 波 上記項目を理解させる。
	二学期	２編　さまざまな物理現象とエネルギー	１５	２章 波（音、光） ３章 電気 上記項目を理解させる。
	三学期	２編　さまざまな物理現象とエネルギー	１０	４章 エネルギー 上記項目を理解させる。
評価の観点・方法		以下を基本方針とし、総合的に評価する。 ①　定期考査（80%）、出席状況・ノート点（20%）を目安とする。 ②　考査の難易度は、指導目標①と同程度とし、自分で作成したノートの込みを可とする。 ③評定平均が3～3.5以上（絶対評価）を目安とし、きめ細かい指導を実現する。		